

【テストの結果の意味】

前期の期末テストが終わりました。今週はテストの結果が返されています。目指していた点数が取れた生徒、残念ながら結果が伴わなかった生徒、いろいろな表情がうかがえます。

もちろん点数がいいことに越したことはないのですが、そもそもこのテスト結果にはどのような意味があるのでしょうか。

まず、テストを受けたことにより、できること（問題）と、できないこと（問題）が分かりました。そもそも学校で学ぶということは、授業で学んだこと（教科書の内容）が全てできるようになることが目標です。

テストを受けたことにより、できないこと（問題）を知ることができたという事実は大事です。それをそのままにしておけば、ただの結果で終わり、できなかった問題をできるようにすればそれだけ目標に近づくということですから。

7月には教科担任面談で、できなかった内容を教員と一緒に確認しています。10月の三者面談では、生徒自身から、何ができなかったのか、そのできなかったことをどう解決するのか話してもらう時間をとります。保護者の皆様には、その生徒の考えを聞いていただき、行動に移していけるようご支援していただきたいと思います。

大事なのは結果ではなく、結果をどう生かしていくか、どう行動に表していくかなのです。ただし、この前提としては、テスト勉強にむけて努力するということはいうまでもありません。「報われない努力もある…」という話もありました。私は努力すれば必ず報われると思います。努力し、結果が良くても悪くても、そこからの次の行動こそ人を成長させるのです。

このことは、学校でも担任から生徒にじっくり話をしていきたいと思っています。

